

横浜子どもスポーツ基金「ブラインドサッカー体験」報告

1. 日 時	平成28年12月22日(木) 10:40 ~12:15(4年生体験)
2. 場 所	横浜市立鉄小学校
3. 参加者	32名(個別支援学級児童1名、普通学級児童31名) 指導者(協会2名・地域指導者1名・教員2名)
4. 集合	現地(球場) 鉄小学校体育館
5. 交通手段	小学校授業で実施
6. 内容	視覚障がいがある選手とファシリテーションを行う講師2名での体験教室の実施 ・アイマスクを付けてのコミュニケーションゲーム ・アイマスクを付けてのミニサッカーゲーム
7. 場内アナウンス	体育館舞台に横浜子ども基金のバナーを1枚掲出をしました。また、スタッフがジャンパーを着用し横浜子どもスポーツ基金のPRをしました。
8. 全体所感	当日の事業については、導入で、目が見える児童とアイマスクを着用した児童に分かれ、準備体操の説明方法を体験しました。目が見えない状態の相手に、どのように説明をするか、どこに着目して説明をするか等について説明を受けました。特に、コミュニケーションの必要性について学びました。ブラインドサッカー体験では、見えない中でパスを行うことのむずかしさ、パスを受けるむずかしさを体験しました。最後に各クラスごとの記念撮影を行い楽しい1日を体験しました。

○ブラインドサッカー体験

●全体講話



●ドリブル見本



●パスの見本



●準備体操の動きを伝える



●アイマスクをして走る



●各種パス・ドリブル練習

